



勝浦小HP QRコード

12月2日(土)から運動場フェンスにイルミネーションが設置されています。



地域のみなさんと共に ~防災教育 勝まつり イルミネーション~

11月11日土曜日 市一斉防災訓練

今年も、市や郷づくり協議会、中学校と連携し、一斉防災訓練を実施しました。災害が発生したときは、安全を確保した上で自分

ができることを、自分で行うことが大切です。慌てずに、迷わずに行動できるような学習や体験ができました。

引き取り訓練のご協力ありがとうございました。



11月25日土曜日 勝まつり

4年ぶりに昼食をまたく、1日開催の勝まつりを実施しました。当日は、たくさんの皆さんに来校していただき、ありがとうございました。

全児童「群読おまつり」低学年「音読劇スイミー」中学年「勝浦人形浄瑠璃」高学年「合唱合奏」と子供

たちの姿に、大きな拍手をいただきました。地域企画の神楽や吹奏楽団の演奏、マジックショーや餅まきなど楽しく盛り上

がった1日となりました。PTAバザー委員さんを始め、ご尽力いただいた皆様に感謝します。ありがとうございました。

この日飛ばした風船を拾った方から、学校にお礼のお手紙が届きました。大分県中津市まで届いたそうです。



6年生修学旅行

11月30日(木)から12月1日(金)の2日間、6年生は長崎県長崎市、島原市、熊本県荒尾市へ修学旅行に行きました。



修学旅行は、平和を守る大切さや災害の恐ろしさ。それらの経験を今後に生かしていくことを、見て聞いて触れながら真剣に学ぶことができました。

また、楽しい思い出をつくる機会でもあります。自分の思い出だけではなく、一緒に過ごす友達、お世話になる方々、勝浦で待っている人々の思い出が、よいものになるように、優しい思いやりのある行動をしていました。

6年生の素敵な姿に大変感心した修学旅行となりました。

令和5年度卒業式

日程 令和6年3月14日木曜日
参加 卒業生(6年生)
在校生代表(5年生)

主な行事予定

※ 現時点での予定のため、日時・内容の変更を行うことがあります。

12月		1月	
月	曜	月	曜
2月以降の主な行事		1	月
2	月	2	火
2月 2日(金)	マル勝タイム	3	水
2月 6日(火)	お弁当の日	4	木
2月 7日(水)	来年度新1年入学説明会	5	金
2月22日(木)	お別れ集会	6	土
3月 6日(水)	職員研修(13:15下校)	7	日
3月14日(木)	卒業式(1~4年生休校)	8	月
3月19日(火)	1~5年給食終了(13:15下校)	9	火
3月21日(木)	11:30下校	10	水
3月22日(金)	修了式・離任式(11:30下校)	11	木
令和6年度1学期始業式 4月8日月曜日		12	金
11	月	1	月
12	火	2	火
13	水	3	水
14	木	4	木
15	金	5	金
16	土	6	土
17	日	7	日
18	月	8	月
19	火	9	火
20	水	10	水
21	木	11	木
22	金	12	金
23	土	1	土
24	日	2	日
25	月	3	月
26	火	4	火
27	水	5	水
28	木	6	木
29	金	7	金
30	土	8	土
31	日	9	日

勝浦小学校では、子供の「自己有用感」の育成をめざし、教育活動を行っています。子供の自己有用感を育成するために、以下の内容は、子供の周りの大人にとって、重要な意識の一つだと考えます。是非ご一読ください。

学びの変革 ~学校の教室で行うことが変わってきています②~

前回の通信で、「今、学校では、『自分で課題を見つけ、それを解決する力』を育てるために、子供一人一人(個)に応じた最適な学びを、学校などで共に過ごす仲間と共に、協働して行うために、教師、保護者、地域住民として関わる大人が意識を新たにすることが必要ありそうです。」とお伝えしました。では、具体的には、どうしていけば良いのでしょうか。

このことは、関わる私たちそれぞれの考えを交流し、勝浦地区としての方法を創っていくことが大切だと考えます。

では、どのようなことが考えられるのでしょうか。

この勝浦小学校区には、他の小学校区にはないすばらしい実績があります。言い換えれば勝浦の強みです。

- ① 地域の皆さんが役割を分担し子供たちに様々な学びを提供していただいていること。
- ② 少ない人数での学びの場において、個別に対応した学びを提供していること。
- ③ 保護者に可能な限り学校での学びに参加・参画いただいていること。

できそうで、なかなか実現できないことです。この財産ともいえる実績をもとに、考えを深めていきたいと思っています。

今、学校では、「自分で課題を見つけ、それを解決する力を育てるために 子供一人一人(個)に応じた最適な学びを、学校などで共に過ごす 仲間とともに、共同して行うことが重要だと言われ、対応を変化させてきています。

大人から言われ、教科書の内容をただ覚え、練習することでは、このような学びを深めることはできません。子供一人一人が「自分はどんな力をつけたいか」「何が課題なのか」「どうなりたいのか」を自分自身で納得して学ぶことが必要です。そしてそれは、6年生であっても、1年生であっても、子供自身が学ぶ意義をもっていることが大切だと言われています。

そのために、今後学校では、勝浦の強み①豊富で伝統のある地域資源・素材について、子供たちが自分のこととして考えるような学びの仕組みを、さらに整えていきたいと思ひます。また、勝浦の強み②「少人数」を生かし、子供が少しずつ、学ぶ意義を意識できるような学びの環境を考え、個別にサポートしたいと思ひます。そして、勝浦の強み③家庭との連携、家庭の支援を生かし、学びの経過を家庭に丁寧にお知らせし、お子さんの状況を共有しながら、お子さんの学びをしっかりサポートしていきたいと思ひています。

具体的な取り組みは来年度以降になると思ひますが、今から準備を進めていきたいと思ひています。